

文学部

文学部生の

5

リアルな！
学生生活

vol.27

文学部生のリアルな学生生活の様子を掲載し、ご父母の皆さまに文学部生の充実したキャンパスライフの風景、また文学部ならではの取り組み等の情報を発信いたします。



大家好！北京からこんにちは。現在、私は北京でこの記事を書いています。留学中にやり残したことをするために、今回北京を訪れました。その前にまずは、私の留学話から皆さんにお話しさせてください。

中国語に興味を持ったきっかけ

私が中国語に興味を持ったのは、高校生のときに学んだ「漢文」でした。なぜこんなに興味を持ったのかは自分でもわかりませんが、とにかく漢文を読むのが大好きでした。進路を考えたとき「漢文を勉強したい！」と思ったのですが、漢文を専攻できる大学は限られています。そこで先生に相談したところ「少し大きな枠でとらえて、中国語を学べるところを受けてみるのはどう？」とアドバイスをいただいで中



留学中に訪れた八达岭。人がすごい～

先輩に刺激を受けて留学へ

国語専攻のある学部を受験し、中央大学文学部に進学しました。最初こそやる気のあった私ですが、通学時間と当時所属していた会の活動で疲弊してしまい、まともに授業を受けなくなりました（先生ごめんなさい）。予習復習をちゃんとしれない（先生ごめんなさい）、ピンインが書けない（先生ごめんなさい）、もちろん中国語の成績は…。しかし、ある日先輩の留学の話聞き、自分も留学したいと思うようになりました。



留学中も現在もお世話になりっぱなしの素顔と再会（左が筆者）

ただの漢文好きから世界が広がる

さいとう しおり
齊藤 栞

文学部人文社会科学中国言語文化専攻4年
埼玉県立浦和第一女子高校出身

思い立ったらすぐ行動タイプの私は、春休みに短期留学することを決めました。これが私の学生生活を大きく変えます。留学先に決めたのは上海。友人から、初めての中国なら上海が良いと教えてもらったこと、デイズニーランドがある地域でもあり、悪いところではなさそうだと考えて（笑）、決めました。初めての海外、初めての中国、初めての経験ばかり。当時私がハマったのはタピオカ！毎日のように飲んでいました。この留学で、私は自分で注文ができるようになりました。ピンインもろくに書けなかったこ

ろを考えると大きな成長であり、達成感もありました。また、中国語を学ぶ日本人の友人もたくさんできました。彼らのほとんどは4年生。長期留学しなかったことを後悔し、最後の思い出にと短期で留学していました。私はこのときから、長期留学もしてみたいなと考えるようになりました。

2年生になり、私は長期留学に向けて本格的に動きます。せっかく行くなら良い大学に行きたいと思い、前回とは違う都市、できれば北京に行きたいと考えていました。そこで志望したのが北京大学。中国大陸では清華大学と一、二を争う優秀な大学です。エントリーシートや面接をクリアして、無事に北京大学への派遣が決まりました。



北京大学の湖「未名湖」。冬はスケートリンクに！

大学での授業はもちろん中国語。日本語が話せる教授もいらつしやいましたが、中国語なしでは生活できない暮らしが始まりました。中国語は発音が命なので伝わらないこともあり、最初はスマホや紙に中国語を書いて助けてもらいました。10月からは、ランゲージパートナーの素頼と一緒に勉強を始めました。彼女は日本語を勉強している大学院生で、互いにわからないことをすぐ相談できます。彼女のおかげで、口語もだいぶ上手に扱えるようになりました。また、中国語で古代中国語の

授業を受けることもできました。これは、私が中国語を勉強し始めたときにいつか実現してみたいと思っていたことだったので、本当にうれしかったです。

まだまだしたいことがたくさん！

さて、冒頭でもお話ししましたが、私は留学中にやり残したことをするために、今回、北京を訪れています。やり残したこと、それは…「観光」です！！引つ張ったわりに、結構普通のことですみません。留学中に故宮や天安門、頤和園、八達峪など、教科書によく出

てくるところは訪れたのですが、少し遠いところはめんどくさいなあと思つて後回しにしている、結局行かずじまいになっていたので、というわけで、今回の滞在では盧溝橋と慕田峪に行つてきました！これで私は北京に思い残すことはありません。しかし、青島の夜景や成都のパンダ、重慶の火鍋をまだクリアしていないので、まだまだ中国に遊びに行く機会は多そうです。中国語を学び始めたころは、こんなにも中国が大好きになるとは思いませんでした。感謝所有我遇見的人々！



今回訪れた盧溝橋！表情が一つずつ違います

年度末の大切さ

文学部事務室
が
曾我文子



From the
Faculty of
Letters



文学部 だより

早いもので、年度末の時期を迎えました。この一年間、ご子女におかれましてはどのような学生生活をお過ごしになられたでしょうか。

何かに全力で取り組まれた一年だったでしょうか。やり残したことがたくさんあった一年だったでしょうか。それとも、なんとなく過ごしてしまつた一年だったでしょうか。

どのような一年でも、これまでの生活を振り返り、残りの大学生活をどのように過ごしていくのかを改めて考える時期が年度末なのではない

かと思えます。

文学部では、3月から4月上旬にかけて、さまざまな行事が予定されています。卒業発表、成績発表、各種ガイダンス、時間割の配布、奨学金の募集、履修登録等、いずれも、次年度に繋がるとても大切な行事です。

このように、年度末は、その年度を締めくくり、次の年度に続くとても短く、とても大切な期間です。この期間に、この一年をどれだけしっかりと見つめることができたかで、

新年度になってから、どれだけ希望と抱負がご子女の気持ちを満たすことができるかが決まると申し上げても過言ではないでしょう。この休業期間を伴うとても短い年度末に、ご子女と一緒にこの一年をお話しされてみてください。

節目の年度末に今一度、自らの大学生生活を見つめていただき、4月になって、新たな希望と抱負に満ちあふれたご子女にお目にかかれるのを楽しみにしています。